

平成28年度 施策評価シート

基本目標	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	540:多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる
施策	543:公正で効率的な行財政運営を進める
施策の目標	区民福祉の一層の向上を図るため、財政基盤の強化や職員定数の適正化に取り組むなど、不断に行財政改革を推進するとともに職員のコスト意識や政策提案能力の向上を図るほか、行政評価を適切に行い、区民満足度の高い成果重視の区政が実現しています。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
区議会ホームページへのアクセス件数(暦年)	件	45,827	39,953	44,614	47,987	78,063
図書室貸出実績	冊	4	21	6	6	13

3 目標と現状(実績)についての分析

<p>指標の推移・施策の課題や問題点について記述</p> <p>開かれた議会として、区民への迅速、正確な情報提供に努めるとともに、わかりやすく伝えることにより、多くの区民に議会への関心を高めていただけるようにしたい。</p> <p>ホームページについては、昨年10月1日にリニューアルを行い、デザインと情報分類を一新したところである。今後とも、引き続きアクセス件数の増加を図りたい。</p> <p>図書館については、議会改革の一環として区議会内で検討されるので、さらなる利用環境の整備に努めたい。</p>
--

4 今後の施策の運営方針

<p>施策の戦略的方向性（選択肢に を付ける）</p> <p>(1) 優先的に資源投入を図る。</p> <p>(2) 現状維持とする。</p> <p>(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。</p> <p>(4) 資源投入の縮小を図る。</p>
<p>【上記の判断理由】</p> <p>効率的、効果的な執行に努める。</p>
<p>【今後の具体的な方針】</p> <p>より開かれた議会・活性化した議会を目指し、議会改革検討委員会及び区議会広報委員会における議論の状況も踏まえるとともに、さらなる見直しを図り、区民にわかりやすく適時適切な情報提供に努めることとする。</p> <p>また、内部管理経費については、引き続きコスト意識をもって、適正・効率的に執行することを心がける。</p>

5 部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業

(単位：千円)

番号	事務事業名	課名	27年度	事務事業評価 シートの評価結果	部長コメント
			歳出決算額		
1	議長交際費	区議会事務局	1,056	現状維持	今後も適正な執行に努める。
2	議会調査関係事務(会議録・区議会だより・ホームページ等)	区議会事務局	16,747	改善・見直し	区議会広報委員会での議論に従い、ホームページ等の更なる充実を図る。
3	図書室運営事務	区議会事務局	256	改善・見直し	議会改革に関する検討を踏まえ、利用環境の整備に努める。

【評価結果】

拡充：効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。

現状維持：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。

改善・見直し：手段の見直しで効果を拡大する必要がある。

縮小・統合：効果は高くないが、継続する理由がある。

休止、廃止：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。

事務事業名	議長交際費		所管課・係	区議会事務局庶務係
施策	543	公正で効率的な行財政運営を進める	連絡先	03-5608-6350
予算書名称	交際費		執行実績報告書ページ	12

1 事業の概要

墨田区議会議長交際費の支出基準を設け、議長交際費の支出について、内容や対象が相当で、金額は社会通念上妥当と認められるものとなるように努めている。 平成22年度から区議会ホームページで議長交際費の支出状況と支出基準を公表している。	事業開始年度	
	終了予定年度	

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
墨田区議会議長が区議会を代表し、議会の円滑な運営を図るために必要な外部との交際上、特に必要と認める相手		に対して				
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
公正、中立な議長の職務の重要性を考え、相手方や内容、金額が社会通念上妥当であると認められる範囲内で、公平性及び透明性に留意した支出		を実施したことで				
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
議会を代表して行う議長の交際において、意見交換等が適切に行われ、円滑な議会運営が実施される		状態にする。				
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位				
活動指標 (手段に対する指標)			年度	H25年度	H26年度	H27年度
			目標値			
成果指標 (目的に対する指標)			年度	H25年度	H26年度	H27年度
			目標値			
			年度	H25年度	H26年度	H27年度
			実績値			
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	議会費	項	議会費	目	議会費	
27年度 歳出予算額	1,800	27年度 歳出決算額	1,056	27年度 執行率	58.7%	28年度 歳出 予算額	1,800
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 0	都支出金 0	その他 0	一般財源 1,800			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度 実績額		28年度 予算額		対象			
開始 年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
<p>墨田区議会議長が区議会を代表して、議会運営上必要な外部との交際を行うことにより、円滑な議会運営が可能となっているため、事業の必要性は高い。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>事業の実績は横ばいであるが、円滑な議会運営を可能としており、またその手段も代替できるものではなく、施策の目標を達成するために一定の成果を上げている。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	低い	前年度評価	低い
<p>事業にかかる経費は横ばいであるが、事業の性質上、統合や区民との協働はできないため効率性は低い。</p>				
(4)現状と課題	<p>今後も公平性、透明性に留意して執行するよう努める。また、議長交際費の透明性をより確保するため、区議会ホームページでの議長交際費の支出状況をよりわかりやすく表示する必要がある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	議長が議会を代表して、議会運営上必要な外部との交際を行うことで、円滑な議会運営を図ることが可能となっているため、事業の必要性は高い。
今後の方向性 (見直しの視点)			
平成27年度区議会の質問状況	時期		
	要旨		

事務事業名	議会調査関係事務(会議録・区議会だより・ホームページ等)		所管課・係	区議会事務局議事調査担当
施策	543	公正で効率的な行財政運営を進める	連絡先	03-5608-6351
予算書名称	議会調査関係費		執行実績報告書ページ	12

1 事業の概要

(実施目的)より開かれた墨田区議会の実現を図り、区民の理解と信頼を高めるため、積極的に議会情報を提供していくことを目的とする。 (実施根拠)地方自治法・墨田区議会会議規則・墨田区議会委員会条例(会議録・委員会記録)、墨田区議会情報の公表及び提供に関する取扱要綱 1.区議会だよりの発行(昭和49年4月から) 2.区議会ホームページ開設(平成12年12月から)	事業開始年度	
	終了予定年度	

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか	
区民及び区議会に関する情報を求める人 区議会議員	に対して
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)	
1.本会議録/区立図書館等の公共施設での閲覧、インターネットによる閲覧・検索 2.委員会記録/区議会事務局での閲覧、インターネットによる閲覧・検索 3.区議会だより/新聞折込等による配布、録音版の配布、インターネットでの閲覧 4.本会議・委員会中継/インターネットでの生中継・録画中継の配信 5.区議会ホームページ/議会日程・議会情報の提供	を実施したことで
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか	
区民及び区議会に関する情報を求める人 区議会に関する情報が公表され、必要な情報が入手できる。区議会議員 本会議等の会議運営、執行機関に対する調査・監視等、議会活動が円滑かつ効果的に行われている	状態にする。

目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	区議会ホームページへのアクセス件数(暦年)	件	目標値	47,000	47,000	48,000
			実績値	44,614	47,987	78,063
成果指標 (目的に対する指標)	区議会だよりの閲読率(住民意識調査)	%	目標値		16.4	
			実績値		14.0	

目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
ホームページについては、「議案本文・資料等の議決前の掲載(平成24年6月から)」、「予算・決算特別委員会の映像配信(平成25年10月から)」等を行い内容を充実し、また、平成27年10月に全面リニューアルを行い記事を閲覧しやすいよう改善したことから、アクセス件数が増加している。また、区議会だよりについては、「ページ数の増」や「委員会の主な質疑の掲載」(いずれも平成26年5月から)等の改善を図っているが、新聞購読率の低下の影響から閲読率が減少している。 ホームページのアクセス件数については、区公式ホームページのリニューアルに伴い、平成27年10月から集計方法が変更されている。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	議会費	項	議会費	目	議会費	
27年度歳出予算額	19,604	27年度歳出決算額	16,747	27年度執行率	85.4%	28年度歳出予算額	18,607
27財源内訳(決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	0	0	0	19,604			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
<p>第23回墨田区住民意識調査(平成26年実施)によると、インターネットを利用している区民の比率は6割台半ばとなっており、積極的に議会情報を提供していくためには、区議会ホームページによる情報発信を今後も継続していく必要がある。一方、区議会だよりは、電子媒体から情報を得ることができない区民に対して議会情報を提供する重要なものであり、本事業を休止・中止した場合、区民に対する情報発信力は大きく損なわれることになり、「より開かれた区議会」という観点に逆行する。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>区議会ホームページについては、これまで内容の充実及びリニューアルによる改善を図ってきたことからアクセス件数が増加傾向にある。一方、区議会だよりについてはその大部分を新聞折込により配布しているため、新聞購読率の低下の影響から閲覧率が低下している。しかし、区議会だよりは電子媒体から情報を得ることができない区民に対する情報提供の手段として役割を果たしており、ふたつの媒体を活用した事業の有効性は高い。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>区議会ホームページについては、区公式ホームページのシステムを活用しているため区議会としての予算は計上されておらず、また、区民に対する情報発信の観点から効果は非常に大きく、効率的といえる。一方、区議会だより及び会議録作成については、紙面や文章の作成に多くの労力と経費がかかっている。</p>				
(4)現状と課題	<p>区議会ホームページはアクセス件数が増加しているところであるが、議会情報を分かりやすく伝えるときに、さらなる内容の充実が求められている。また、区議会だよりについても、その役割は重要であることから、さらに関心を持ってもらえるよう紙面を工夫する必要がある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	改善・見直し	判定理由	<p>これまでも議会広報・ホームページについて利用者の視点で見直しを行い、議会改革検討委員会でも検討を重ね、より区民に分かりやすい、開かれた議会となるように創意工夫してきた。 引き続き、議会広報・ホームページの改善・効率化を図っていく。</p>
今後の方向性(見直しの視点)	<p>区議会ホームページの充実について、議会改革検討委員会で協議した結果、ホームページは適宜改善を図ることとし、その内容については区議会広報委員会で議論することと決定した。</p>		
平成27年度区議会の質問状況	時期		
	要旨		

事務事業名	図書室運営事務		所管課・係	区議会事務局議事調査担当
施策	543	公正で効率的な行財政運営を進める	連絡先	03-56086351
予算書名称	図書室運営費		執行実績報告書ページ	12

1 事業の概要

墨田区議会議員の調査研究及び区政運営の参考に資するため、墨田区議会図書室を設置している。 (実施根拠) 地方自治法第100条第19項 墨田区議会図書室管理要綱(平成11年5月28日適用)	事業開始年度	
	終了予定年度	

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
区議会議員等					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
議員のニーズを的確に把握し、調査研究に必要な書籍を整備する等、必要な情報を質の高いレベルで提供することで、議員にとって利用しやすい環境整備					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
議会図書室で得られる知識が議会活動に活かされている					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	図書室貸出実績		冊	目標値	8	10	20
				実績値	6	6	13
成果指標 (目的に対する指標)				目標値			
				実績値			
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
議員が利用しやすくするため、平成27年度は次の2点を工夫した。 図書の選定に関し、全議員からのリクエストを踏まえた上での事務局の選定に加え、専門家であるひきふね図書館司書による選定を行った。 議員改選期であったことから新たな図書目録を作成し、各会派へ配布した。							

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	議会費	項	議会費	目	議会費
27年度歳出予算額	324	27年度歳出決算額	256	27年度執行率	79.0%	28年度歳出予算額
27財源内訳(決算額)	国庫支出金 0	都支出金 0	その他 0	一般財源 324		
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの						
27年度実績額		28年度予算額		対象		
開始年度		根拠法令				
算定基準				補助率		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	低い	前年度評価	低い
利用実績は低いが、法律上、図書室の附置が規定されている。				
(2)事業の有効性	評価結果	低い	前年度評価	低い
指標の実績値は低いレベルで推移している。				
(3)事業の効率性	評価結果	低い	前年度評価	低い
法律上の義務となっていない図書等の購入については、政務活動費で購入が可能である。				
(4)現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の貸出実績が低いレベルで推移していることから、より利用しやすい図書室のあり方を検討する必要がある。 ・政務活動費で購入が可能である書籍との関係を整理する必要がある。 			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	改善・見直し	判定理由	情報収集手段が多様化している状況下ではあるが、需要に応えるべく、利用環境等の整備に努めていく。
今後の方向性 (見直しの視点)	議会図書室のあり方について、議会改革検討委員会で協議した結果、今後、議会基本条例の制定に向けて特別委員会を設置することとしており、その中で併せて検討することと決定した。		
平成27年度区議会の質問状況	時期		
	要旨		